

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課
 担当名: 施設整備担当
 内線: 6646

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P34	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業			一般会計	教育費	特別支援学校	特別支援学校施設費	県立特別支援学校教室不足対策費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	学校教育法第72・76・80条			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	
						分野施策	0503 多様なニーズに対応した教育の推進	SDGsターゲット	
1 事業概要 知的障害のある児童生徒増への対応を図るため、新たな特別支援学校及び分校の設置を行う。また、既存特別支援学校における教育環境の整備を図る。 高校内分校設置・校舎増築 △197,456千円				5 事業説明 (1) 事業内容 高校内分校の設置・校舎の増築 1,244,532千円 (ア) 令和6年4月開校予定 大宮商業高校内分校(仮称)、新座柳瀬高校内分校(仮称)、三郷北高校内分校(仮称) 各学校 高等部(普通科) 48人(6学級) (イ) 令和8年・10年供用予定 川口特別支援学校2棟校舎増築 令和8年供用予定校舎 96人程度、令和10年共用予定校舎 78人程度 (2) 事業計画 ア 高校内分校3校の設置(令和6年開校予定) 大宮商業高校内分校(仮称)、新座柳瀬高校内分校(仮称)、三郷北高校内分校(仮称) イ 既存校1校の改修・増築(設計)(令和8年供用開始予定) 川口特別支援学校 (3) 事業効果 児童生徒像への対応及び特別支援教育の充実 (4) 補正予算の概要 工事請負費が見込を下回ったこと等による減及び国の交付決定による国庫支出金・一般財源の財源更生					
2 事業主体及び負担区分 高校内分校(国1/2・県1/2) その他(県10/10)									
3 地方財政措置の状況 高校内分校 公共事業等債(財対分)(24,000千円)の元利償還金の50%が後年度基準財政需要額に算入される、									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	県 債						
決定額	△197,456	61,526	△253,000					△5,982	1,244,532
現計額	1,441,988		1,429,000					12,988	

事業内訳書

事業名	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業		
単位事業名	知的障害特別支援学校の設置	予算額	△ 197,456千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 特別支援学校費補助金	61,526	—	学校施設環境改善交付金 補助率 定額
県債・ 教育債	△253,000	—	県立特別支援学校建設事業債
一般財源	△5,982	—	
合計	△197,456	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△42	—	執行留保等による普通旅費の減
需用費	△54	—	執行留保等による消耗品費、印刷製本費の減
役務費	△682	—	執行留保等による減
委託料	△28,965	—	見込みを下回ったことによる設計費の減

単位事業名	知的障害特別支援学校の設置	予算額	△ 197,456千円
-------	---------------	-----	-------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	△167,713	—	見込みを下回ったことによる県立学校4校の工事費の減
合計	△197,456	—	